



※各目標のアイコンの下にある数字・アルファベットは「ターゲット」を表しています。詳しくは、付録(P.000)を参照してください。

### 横断的取り組み

### 横断的取り組み



出所:環境省「すべての企業が持続的に発展するために -持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド- 資料編」より作成

# SDGsは17からなる 地球規模の達成目標

国連が採択した2030年までに達成を目指す世界共通の目標がSDGsです。その詳しい内容を理解する前に、SDGsの17の目標がどんなものなのか確認しておきましょう。その目標を見るだけでも、世界が解決すべき課題が見えてきます。

## 17の目標には、世界の課題が凝縮されている

2015年9月、ニューヨークの国連本部で行われた国連持続可能な開発サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ（以下、2030アジェンダ）」が採択されました。その中核をなすのが、「SDGs（エスディージーズ）」です。

SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、国連に加盟する全193カ国が達成を目指す2016年から2030年までの国際目標です。

右ページを見るとわかるように、全部で17の目標が設定されています。いずれの目標も、目標①「貧困をなくそう」目標②「飢餓をゼロに」といったようにシンプルに表現されているものばかりです。裏を返せば、これらの目標を解決しようとしているところに、世界が解決しなければいけない問題があるということです。

## SDGsの達成状況は、はかばかしくない

2030アジェンダの採択から4年経った2019年9月に国連本部で行われた「SDGsサミット2019」では、アントニオ・グテーレス国連事務総長が、「私たちは取り組みをさらに強化しなければなりません。今こそ、個人的にも集団的にも大胆なリーダーシップが必要なのです」と世界の人々に約束を守るよう強く訴えました。グテーレス国連事務総長がこうした発言をしたのは、持続可能な開発のための2030アジェンダの採択から4年経ってもSDGsの取り組みが進んでいない現状を憂慮したからです。



アントニオ・グテーレス

2017年から第9代国連事務総長を務めるポルトガル出身の政治家。1995年から2002年までポルトガル首相を務め、2005年6月～2015年12月には国連難民高等弁務官を務めた。

## SDGsの17の目標



【目標1】  
貧困をなくそう



【目標2】  
飢餓をゼロに



【目標3】  
すべての人に健康と福祉を



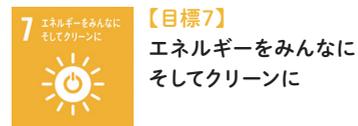
【目標4】  
質の高い教育をみんなに



【目標5】  
ジェンダー平等を実現しよう



【目標6】  
安全な水とトイレを世界中に



【目標7】  
エネルギーをみんなにそしてクリーンに



【目標8】  
働きがいも経済成長も



【目標9】  
産業と技術革新の基盤をつくろう



【目標10】  
人や国の不平等をなくそう



【目標11】  
住み続けられるまちづくりを



【目標12】  
つくる責任つかう責任



【目標13】  
気候変動に具体的な対策を



【目標14】  
海の豊かさを守ろう



【目標15】  
陸の豊かさも守ろう



【目標16】  
平和と公正をすべての人に



【目標17】  
パートナーシップで目標を達成しよう



出所：国連広報センター

Frederic Legrand-COMEQ/Shutterstock.com

## 世界には解決すべき さまざまな問題がある

日本では毎年のように起きる水害、いつ起こるか分からない大地震、経済格差や性差別などさまざまな問題があります。世界に目を向ければ、日本では考えられないような問題も多く起こっています。

### 地球上に解決すべき問題が山積している

#### ブラック・ライブズ・マター

2012年2月にフロリダ州で起こった黒人の若者が射殺された事件で、射殺した警備員に無罪判決が出たことをきっかけに、ソーシャルメディア上で#BlackLivesMatterというハッシュタグが広まった。

世界は、貧困、経済格差、気候変動、人種差別、性差別など、さまざまな問題・課題に直面しています。それを大別すると、「**環境問題**」「**社会問題**」「**経済問題**」の3つに集約できます。

2020年5月25日、アメリカのミネソタ州ミネアポリス近郊で、黒人男性ジョージ・フロイドさんが白人の警察官に不適切に拘束され死亡させられたのきっかけに起こった「ブラック・ライブズ・マター（黒人の命は大切）」運動は記憶に新しいところです。アメリカにおける根深い黒人差別があることを改めて世界に知らせることになりました。

アフガニスタンやイラク、シリアでは戦闘が続いており、多くの人が故郷を追われて難民になっています。途上国の貧困もなくなっていないし、先進国でも国内の経済格差が拡大し、相対的貧困が問題になっています。

日本でも「過去に経験したことがない」レベルの豪雨が頻繁に起こっており、毎年のように洪水が発生しています。自然災害も増えています。

絶滅しそうな動物も増えています。一方でバツが異常発生して農作物を食べつくす大規模な蝗害も世界各地で起こっています。そして、2019年に中国湖北省武漢市で発生したとされる新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）で世界は大混乱に陥り、多くの人命を失っただけでなく、莫大な経済的損失を生み出しました。

#### 蝗害

大量発生したバツ類による農作物の被害のこと。2020年にはアフリカ東部で発生したサバクトビバッタ（写真）が、中国付近まで到達し、広範囲にわたるエリアで農作物に被害が出た。



### 世界で起こっているさまざまな問題

- 地球温暖化の進展 ● 水問題の深刻化 ● 自然災害の増加
- エネルギー問題の深刻化 ● 生物多様性の喪失
- 気候変動の激化 など

#### 環境問題



#### 社会問題

- 貧困 ● 感染症の流行
- 教育機会の不平等
- さまざまな差別とハラスメント
- 少子高齢化・人口爆発
- 紛争の長期化・複雑化 など

#### 経済問題

- 経済危機の頻発
- 経済格差の拡大
- 社会福祉財源の不足
- 雇用なき都市化の進行
- 若年失業率の高さ など

このまま問題を放置すれば、「持続可能な開発」はできなくなり、世界は立ち行かなくなる！

このようにさまざまな問題が起こっていますが、**問題の原因を突き詰めていくと、そこには私たち「人間」の行為に行き着くことばかり**です。差別する心をもつのは人間ですし、動物を乱獲するのも人間です。経済的利益のために人間が環境を破壊していないければ、地球温暖化も起こっていないでしょう。

**私はこうしたさまざまな問題に無関心ではいられなくなっています。**P.18で紹介するように、このままでは地球はもたない状態になっているからです。

# SDGsのもとになった MDGs(ミレニアム開発目標)

SDGs 以前に国連が 2015 年までに達成を目指した国際目標として、「MDGs (Millennium Development Goals : ミレニアム開発目標) がありました。MDGs は一定の成果を上げていたものの、すべての目標は達成できず、SDGs に引き継がれています。

## 貧困層の半減など、一定の成果を上げたが……

### 国連ミレニアム・サミット

2000年9月6日～8日にかけてニューヨークの国連本部で、開催された加盟国首脳会議。21世紀における国連の役割について話し合わせ、MDGs が採択された。日本からは当時の森喜朗首相などが出席した。

SDGsのもとになったのが、2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言をもとにまとめられた **MDGs (Millennium Development Goals : ミレニアム開発目標)** です。

21世紀の国際社会の目標として、国連に加盟する全193カ国と23の国際機関が合意したMDGsは、「2015年まで」という期限を定めて、8つの目標を掲げました。

以来、2005年の国連首脳会合、2010年のMDGs国連首脳会合などの場で、首脳レベルで達成に向けた取り組みの強化することを確認し合いながら、世界が達成に向けて取り組んだ結果、目標①「極度の貧困と飢餓の撲滅」では、「2015年までに1日1ドル未満で生活する人々の割合を半減させる」を5年も早い2010年に達成したほか、小学校に通う子どもの数は史上最高に達し、それまで男児に比べて低かった女児の就学率もほぼ同じになりました。また、幼児死亡率は劇的に低下し、安全な飲み水へのアクセスは大幅に拡大しました。

このようにMDGsは一定の成果を上げましたが、2000年からの15年間で全目標を達成することはできませんでした。

とくに、世界でも最も発展が遅れている**サハラ以南のアフリカ(サブサハラ・アフリカ)**では、目標④「児童死亡率の引き下げ」が未達に終わるなど、進捗の遅れが大きな課題とされました。その課題はSDGsに引き継がれています。

### サハラ以南のアフリカ

サブサハラ・アフリカとも呼ばれ、「アフリカのうち、サハラ砂漠より南の地域」を指す。国連の定義では、北アフリカのアルジェリア、エジプト、チュニジア、モロッコ(西サハラ)、リビアを除いたアフリカの国々を指す。貧困や紛争、HIV/エイズやマラリアの蔓延など、多くの問題を抱えており、世界で最も発展が遅れたエリアになっている。

## MDGsの8つの目標



### 目標① 極度の貧困と飢餓の撲滅

主なターゲット

1990年から2015年までに、1日1ドル未満で生活する人々の割合を半減させる。



### 目標② 初等教育の完全普及の達成

主なターゲット

2015年までに、すべての子どもたちが、男女の区別なく、初等教育の全課程を修了できるようにする。



### 目標③ ジェンダー平等の推進と女性の地位向上

主なターゲット

できれば2005年までに初等・中等教育において、2015年までにすべての教育レベルで、男女格差を解消する。



### 目標④ 児童死亡率の引き下げ

主なターゲット

1990年から2015年までの期間に、5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する。



### 目標⑤ 妊産婦の健康の改善

主なターゲット

1990年から2015年までに、妊産婦の死亡率を4分の3引き下げる。



### 目標⑥ HIV/エイズ、マラリア、その他の疫病の蔓延防止

主なターゲット

2015年までに、HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後、減少させる。



### 目標⑦ 環境の持続可能性の確保

主なターゲット

持続可能な開発の原則を各国の政策やプログラムに反映させ、環境資源の喪失を阻止し、回復を図る。



### 目標⑧ 開発のためのグローバルなパートナーシップの構築

主なターゲット

開放的で、ルールに基づいた、予測可能でかつ差別のない貿易および金融システムのさらなる構築を推進する。

## 「他人ごと」でなく、 「自分ごと」として考える

世界中の人々が、SDGsについて他人ごとと考えてしまえば、2030年の達成は実現できません。世界中の一人ひとりがさまざまな問題について知り、自分ごととして考え、行動することが、未来の地球を守るために必要といえます。

### 自分とは違う人の立場になって想像力を働かせる

SDGsの17の目標を見て、「自分にはあまり関係なさそうだ」と思ったのなら、それはSDGsへの向き合い方として正しいとはいえません。SDGsは「誰一人取り残さない」世界の実現を目指しています。私たちはそのうちの「一人」ですから、17の目標すべてに無関係ではないのです。大切なのは、17の目標すべてを「自分ごと」として考えることです。

**自分ごととして考えるためには、想像力が必要です。**ここで、「もし誰になるかを選べない状況で誰かと入れ替わるとしたら」を考えてみましょう。

男性に入れ替わるか、女性に入れ替わるかわかりません。このときに、男性と女性のどちらに入れ替わりたいでしょうか。現実の世界に目を向けると、男女は平等ではなく、さまざまな性格差があります。

2020年3月に国連開発計画（UNDP）が公表した「世界価値観調査」によると、世界のおよそ9割の男女が、女性に対して何らかの偏見を持っているといいます。たとえば、男性のほうが政治的指導者に向いていると考える人は世界の男女の約半数を占め、雇用数が少ないときは男性のほうが働く権利があると考え人は世界の男女の40%以上でした。驚くべきことに、男性が妻に暴力を振るうことは正当であると考える人が28%もいました。

男性か女性かを選べないときに、男女差別がある世界と、男女平等の世界のどちらがいいと考えるのでしょうか。このとき女性は

#### 国連開発計画 (UNDP)

1966年に発足した国際連合の開発援助機関。発展途国に対する技術援助と投資前調査を中心とする援助活動を行なう。本部はアメリカのニューヨーク。

### ▶ 世界に波及した「ブラック・ライブズ・マター」運動



2020年5月25日、アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス近郊で、アフリカ系アメリカ人の黒人男性ジョージ・フロイド氏が、白人警察官に8分46秒間も膝で頸部を強く押さえつけられ殺害された。この事件をきっかけに、全米中で抗議活動が行われ、その動きは世界中に広がった。一部では、抗議している人が暴徒化してスーパーマーケットなどで略奪行為が行われたり、建物が放火されるなどの問題も起こった。

もちろんのこと、男性も男女平等の世界のほうが良いと考える人が多いのではないのでしょうか。

アフリカや南アジアには飢餓に苦しむ人がたくさんいますが、飽食の日本に生まれた私たち日本人のなかで、飢餓の苦しさを実感として知る人はほとんどいません。

2020年5月に米ミネソタ州ミネアポリスで起こった警察官による黒人男性の殺害事件をきっかけに、アフリカ系アメリカ人を中心に人種差別を受けてきた人々が「Black Lives Matter（ブラック・ライブズ・マター）」と声を上げました。

その行動に理解を示しても、人種差別される黒人の痛みや怒りを知る日本人はそう多くはありません。世界は平等を目指していますが、生まれた国や人種などによって、置かれる状況や考え方は大きく異なります。それでも世界の問題の現実を知り、立場や状況が異なる人のことを少しでも自分ごととして考えられれば、行動が変わっていくのではないのでしょうか。

企業は利益だけを追い求めればいいのか？

## 利益だけを追求するのは時代遅れの考え方

これまで私たち人間が経済的利益のために、環境や人権を顧みなかったことに対する反省をしなければいけません。SDGsの達成を目指す現代において、企業が利益だけを追及する考え方は時代錯誤であるだけでなく、自らの首を閉める愚かな行為です。

### 私たちは大切なことをないがしろにしてきた

#### 水俣病

1950年代に発生した、工場の排水に含まれたメチル水銀が蓄積された魚や貝などを食べることによって起きた病気のこと。脳や神経を侵し、手足のしびれ、見える範囲が狭くなる、耳が聞こえにくい、動きがぎこちなくなるなどの症状が起こる。また、新潟県の阿賀野川流域でも同じ病気が発生し、第二水俣病と呼ばれた。

#### イタイイタイ病

富山県の神通川流域で、1910年代から1970年代にかけて発生した鉱山の製錬に伴う未処理廃水に含まれるカドミウムによって起きた病気のこと。患者が「イタイ、イタイ」と泣き叫ぶことからこの名が付いた。

私たちは、環境や人権を犠牲にして経済発展してきました。たとえば、日本では高度経済成長期に水俣病やイタイイタイ病などの公害が社会問題になりました。**これまで企業は環境を破壊し、多くの人命を犠牲にしましたが、その主な原因は環境や人権よりも利益の追求を優先した企業の姿勢にありました。**

第1章で説明したSDGs ウエディングケーキモデルでもわかるように、私たちは環境から享受する恵みを土台に社会、経済を成り立たせています。それなのに、環境を破壊し続けて取り返しのつかないダメージを与えてしまえば、私たちはその恵みを受ける暮らしが維持できなくなります。

また、途上国の小さな子どもや貧しい人たちを低賃金で雇い、劣悪な環境で働かせながら莫大な利益を上げるような行為は、貧しい人たちの貧困を固定化させて、新たなマーケットを生むことを阻害するため、めぐりめぐって世界中の企業の利益獲得の機会を失わせます。

SDGsは、こうした「環境」や「人権」の問題を解決しなければ、長期的な時間軸では、経済が持続的成長を阻害することになることを痛烈に指摘しているのです。

### 長期的視点で「利益」という言葉の意味を考える

「持続可能な開発」という言葉を考えるうえで重要なのは、長い時間軸をもって物事を考えることです。そのうえで、企業は「利

### ➔ 企業が起こしたさまざまな不祥事

年	関係した企業	内容
1956	チッソ	工業廃水を無処理で水俣湾に排出したことで、周辺住民に健康被害。この年に公式に確認された(水俣病)
1960	石原産業、中部電力、三菱油化など	四日市コンビナートから排出された大量の亜硫酸ガスによる大気汚染を原因とする、ぜんそく症状を訴える周辺住民が増加しはじめる(四日市ぜんそく)
1965	昭和電工	工業廃水を阿賀野川に排出したことで周辺住民に健康被害。この年に公式に確認された(第2水俣病)
1968	三井金属 鉱業	1910年代より鉱山の廃水により神通川下流域で周辺住民に健康被害。この年に公害認定(イタイイタイ病)
1989	エクソン	アラスカ州のプリンス・ウィリアム湾で座礁し、大量の原油を流出させ、甚大な海洋汚染を引き起こした(エクソンバルディーズ号原油流出事故)
1996	アディダス、ナイキ	ILO(国際労働機関)の調査により、パキスタン・シアルコット地方で生産されるサッカーボールは、約7,000人の児童が労働に従事してつくられていることが判明
1997	ナイキ	インドネシア、ベトナムなどの工場における児童労働が発覚
2010	フォックスコン	アップルやデルの製造委託先である台湾の鴻海精密工業の中国子会社で違法な過酷労働が発覚
2010	BP	海底油田を掘削していた施設で、BPの過失により天然ガスが引火して爆発。パイプが破損し、大量の原油がメキシコ湾へ流出。過去最大級の海洋汚染に
2015	フォルクスワーゲン	ディーゼルエンジンの一部車種で、実走行時の有害排出物が規制値を大幅に上回っていることが判明

益」について考える必要があります。

たとえば、漁師が目先の利益を追い求めて乱獲すれば、一時的には莫大な利益を手にするかもしれませんが、数年後には資源が枯渇して、環境から恵みを享受できなくなるでしょう。そのような持続不可能なことをしてまで得た利益が、本当の利益といえるでしょうか。「利益を上げる企業＝優良企業」かもしれませんが、**手段を選ばずに利益を上げるような行為は、社会から厳しい追及を受けることがあっても賞賛されることはないのです。**

## 「PRI(責任投資原則)」とは？

アナン元国連事務総長は、国際社会と世界経済が持続可能な発展を実現するために、機関投資家を中心とした投資コミュニティに対して投資をするうえでの原則である PRI を提唱しました。PRI は投資のあり方に変化をもたらし、企業にも変革を促すことになりました。

## ESG投資の潮流の原点になったPRI

2006年4月、当時の国連事務総長であるコフィー・アナン氏が機関投資家に対して、6つの原則からなる「**責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment)**」を発表しました。

この背景には、短期的な利益の追求に走るあまり、ガバナンスの問題から不祥事を起こす企業が後を絶たないことがありました。粉飾決算をきっかけに2001年に破綻した米エネルギー大手エンロンは、その代表例です。

PRIは企業が短期的な利益を追求するあまり、さまざまな問題を起こしてきたことを防ぐ目的があるといえます。

PRIは、機関投資家(生保・損保、銀行、年金基金など、資産保有者から資産運用を受託している機関のこと)が投資を行う際に、以下の3つの要素を投資対象の決定に取り込むことを求めています。

- ・ **環境 (E : Environment)**
- ・ **社会 (S : Social)**
- ・ **企業統治 (G : Governance)**

頭文字をとって、この3要素は **ESG** と呼ばれています。

簡単にいえば、目先の利益優先で環境への負荷などを考えずに乱開発する企業や、途上国で労働者を搾取するようなビジネスを行う企業ではなく、ESGの観点を踏まえた活動を行っている企業を投資先として選び、そうでない企業を投資対象から外すことを機関投資家に求めたのです。

## エンロン

かつてアメリカにあった総合エネルギー企業。2001年に特定目的会社(SPC)を利用した巨額の粉飾決算が発覚し倒産した。このエンロン事件はコーポレートガバナンスを重視する契機になり、アメリカでは、2002年に企業の不祥事に対する厳しい罰則を盛り込んだ企業改革法(SOX法)が導入された。

## PRI(責任投資原則)の6つの原則

- 1 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG課題を組み込みます。
- 2 私たちは、活動的な(株式などの)所有者になり、所有方針と所有習慣にESG問題を組み入れます。
- 3 私たちは、投資対象の企業に対して ESGの課題についての適切な開示を求めます。
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

出所:PRI

## PRIは企業に変化を促すことにつながった

機関投資家がPRIを守るようになれば、企業は機関投資家から投資先として選定されるためにESG要因に配慮する必要が増します。**PRIは投資という側面から企業に対して、ESG要因に配慮するように圧力をかける仕掛け**ともいえるのです。

企業もESG要因に配慮すれば消費者から支持を得られやすくなるなどメリットがあります。逆に**ESG要因に配慮しない企業は投資対象から外され、消費者の支持を失うことに直結します。**

PRIは6カ条のシンプルなものですが、世界を大きく変える力をもっています。アナン氏は、多額の資金が必要とされる世界の課題・問題の解決に、効率的に投資の力を利用し、かつ持続可能な仕組みにすることを狙ったわけですが、PRIに署名することで、受益者と顧客の期待に応えようとする機関投資家の数は世界中で増えています。

## 日本政府が表彰する 「ジャパンSDGsアワード」

SDGs 達成に向けて取り組もうとしたときに、参考になるものがあれば、より具体的にどう取り組むのかをイメージしやすくなります。そのときに参考になるのが、「ジャパン SDGs アワード」を受賞した企業や団体の取り組みです。

### 「ジャパンSDGsアワード」を参考にする

ジャパン SDGs アワードとは、内閣総理大臣を本部長とする SDGs 推進本部が SDGs 達成に貢献する優れた取り組みを行う、日本に拠点がある企業・団体（NPO・NGO、地方自治体、学術機関、各種団体など）を表彰するもので、2017 年の第 1 回が開催されて以来、毎年行われています。

最も優れた取り組みには総理大臣による「SDGs 推進本部長賞（内閣総理大臣）賞」（1 案件）、SDGs 推進本部長賞には選定されなかったものの優れた取り組みとされたものは、官房長官と外務大臣による「SDGs 推進副本部長賞（内閣官房長官）賞」「SDGs 推進副本部長賞（外務大臣）賞」（それぞれ 1～3 案件）が授与されます。そのほかの特筆すべき功績があったと認められる企業・団体については、「SDGs パートナーシップ賞（特別賞）」が授与されます。特別賞が授与される数は決まっていますが、すでに実施された第 3 回までを見ると毎年 6～8 の案件が受賞しています。

その評価は、日本政府が示した SDGs 実施指針における 5 つの主要原則（P.26）である「普遍性」「包摂性」「参画型」「統合性」「透明性と説明責任」に基づいて行われます。

「ジャパン SDGs アワード」を受賞した取り組みは、SDGs に取り組むうえで示唆に富むものばかりですので、本章では第 1 回～第 3 回の SDGs アワードを受賞した企業・団体から 10 事例を紹介していきます。

### ➔ 第 1 回～第 3 回「ジャパンSDGsアワード」で受賞した取り組み

第3回ジャパンSDGsアワード(2019年12月20日発表)	
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞	魚町商店街振興組合→P.164
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞	大阪府 「九州力作野菜」「果物」プロジェクト共同体
SDGs副本部長(外務大臣)賞	NPO法人TABLE FOR TWO International 株式会社富士メガネ→P.172
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)	日本リユースシステム株式会社→P.166
	徳島県上板町立高志小学校→P.176
	大牟田市教育委員会
	公益社団法人日本青年会議所
	株式会社大和ネクスト銀行 そらのまちほいくえん

第2回ジャパンSDGsアワード(2018年12月21日発表)	
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞	株式会社日本フードエコロジーセンター→P.158
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞	日本生活協同組合連合会
	鹿児島県大崎町→P.174 一般社団法人ラ・バルカグループ
SDGs副本部長(外務大臣)賞	株式会社LIXIL
	NPO法人エイズ孤児支援NGO・PLAS
	会宝産業株式会社→P.168
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)	株式会社虎屋本舗→P.170
	株式会社大川印刷→P.160
	SUNSHOW GROUP
	株式会社滋賀銀行→P.162
	山陽女子中学校・高等学校地歴部
	株式会社ヤクルト本社 産科婦人科館出張 佐藤病院 株式会社フジテレビジョン

第1回ジャパンSDGsアワード(2017年12月26日発表)	
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞	北海道下川町
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞	特定非営利法人しんせい
	パルシステム生活協同組合連合会 金沢工業大学
SDGs副本部長(外務大臣)賞	サラヤ株式会社
	住友化学株式会社
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)	吉本興業株式会社
	株式会社伊藤園
	江東区八名川小学校
	国立大学法人岡山大学
	公益財団法人ジョイセフ 福岡県北九州市

※赤字は本書で説明している事例

## 新型コロナウイルスは、SDGsの進捗に深刻な影響を与えている

新型コロナウイルスが世界中に広がったことで、SDGsの取り組みにも深刻な影響を与えています。2020年7月に公表された「持続可能な開発目標（SDGs）報告2020」を参考に、どんな弊害があるか見ていきます。

### 最も脆弱な立場の人々に大きな悪影響を与えた

新型コロナウイルスの世界的大流行によって、2020年8月末時点で、全世界の死者数は約85万人、感染者数は2,500万人超となり、SDGsの進捗にも悪影響を与えています。

国連持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN：Sustainable Development Solutions Network）と独ベルテルスマン財団が2020年7月に公表した『持続可能な開発目標（SDGs）報告2020』によると、新型コロナウイルスは、世界の最貧困層など脆弱な立場に置かれた人々に深刻な影響を及ぼしていると警鐘を鳴らしています。

グテーレス国連事務総長は、「新型コロナによる未曾有の保健・経済・社会危機によって、人々の生活と暮らしは脅威にさらされ、SDGsの達成をさらに困難なものにしています」と危機感を募らせ、「その影響は平等ではない。むしろ、すでにあった不平等や不正義を明るみに出し、さらに悪化させている」と述べています。

最も大きな打撃を受けているのが、子どもや高齢者、障害者、移民、難民、最貧困層の人々など、最も脆弱な立場に置かれた人々です。**2020年には、およそ7,100万人が極度の貧困に陥るとみられており、1998年以来初めて世界で貧困が増加するおそれが出てきています。**

ワクチン開発において世界の国々が協力を深めたり、大気汚染が解消されるなどのプラスもないわけではありませんが、この危機は、右ページのようにSDGsの進捗に悪影響を及ぼしています。

#### 国連持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）

2012年に潘基文国連事務総長（当時）によって、世界の環境・社会・経済問題の解決および持続可能な社会の実現に向けた方策を模索するとともに、これをグローバルなレベルで共有することを目的として設立されたグローバルなネットワーク。研究機関や大学、企業、市民団体などさまざまな団体が加盟する。

## 新型コロナウイルスがSDGsに与える主な短期的な悪影響



### 目標1

- 失業と経済的封鎖による貧困の増加
- 脆弱なグループ（貧困層など）に対する不均衡な影響



### 目標2

- 世界的な食料供給と貿易の減少による食料不安
- 収入の減少と封鎖中の食料供給の減少による飢餓
- 輸送の問題と労働力の減少による食料ロスと廃棄物の増加
- 学校給食の中断による栄養不良



### 目標3

- Covid 19のよる高い発病率と死亡率
- 医療システムへの高負荷による他の疾病の死亡率の上昇
- ロックダウンがメンタルヘルスに与える悪影響（不安とうつ病など）



### 目標8

- 世界のほぼすべての地域で経済危機
- 貿易の混乱
- 大量失業
- 事業閉鎖・破産
- 観光活動の急激な減少
- 大きな財政赤字



### 目標10

- 特にセーフティーネットが脆弱な国おける、難民や移民を含む脆弱なグループへの健康と経済への不均衡な影響
- 熟練度が低く、賃金が低い労働力の喪失

## 1 貧困をなくそう



## あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

## 世界が直面している主な課題・問題

- 極度の貧困状態にある世界人口の割合は、2010年の15.7%から2015年には10.0%に減少したが、世界の貧困削減のペースは減速している。2019年の世界の貧困率は8.2%とされているが、2020年後半にパンデミックが予想されているレベルまで回復すると仮定すると、貧困率は2020年に8.8%にまで上昇すると予測されている。
- 南アジアとサハラ以南のアフリカでは、極度の貧困が最も増加し、パンデミックの結果としてそれぞれ3,200万人、2,600万人が1日1.9ドルの国際貧困線以下で生活することが予想されている。
- 全世界の人口の55%（約40億人）は、2016年にはいかなる形の社会保護からも恩恵を受けておらず、失業給付の対象となった失業者は22%にすぎなかった。2020年2月の時点で、国内法に基づいた失業保護プログラムを実施している国は87カ国のみで、自営業者をカバーしている国は34カ国のみだった。
- 2019年には、15歳から24歳の労働者の12.8%が貧困状態で生活していたのに対し、24歳以上の労働者の6.3%で、2000年以降、若者と成人の労働貧困率の差はわずかに減少している。しかし、この格差は新型コロナウイルスの感染拡大により悪化する可能性が高い。

## ターゲット

- 1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
- 1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
- 1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度および対策を実施し、2030年までに貧困層および脆弱層に対し十分な保護を達成する。
- 1.4 2030年までに、貧困層および脆弱層をはじめ、すべての男性および女性の経済的資源に対する同等の権利、ならびに基本的サービス、オーナーシップ、および土地その他の財産、相続財産、天然資源、適切な新規術、およびマイクロファイナンスを含む金融サービスへの管理を確保する。
- 1.5 2030年までに、貧困層や脆弱な立場にある人々のレジリエンスを構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的打撃や災害に対するリスク度合いや脆弱性を軽減する。
- 1.a あらゆる次元での貧困撲滅のための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの多大な資源の動員を確保する。
- 1.b 各国、地域、および国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを設置し、貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援する。



## 2 飢餓をゼロに



## 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

## 世界が直面している主な課題・問題

- 重度の栄養不良に陥っている人の比率は2014年の8.3%から2019年には9.7%まで上昇している。2019年は約6億9,000万人が栄養失調で、2014年と比べて6,000万人近く増加している。
- 発育不全に苦しんでいる5歳未満の子どもの割合は、2000年の32%から2015年には23%、2019年には21%に減少した。その多くは南アジア（39%）とサハラ以南アフリカ（36%）に住んでいる。発育不全の子どもの数を2025年までに9,900万人に、2030年までに8,200万人まで減らすという目標を達成するには、これまで以上の取り組みが必要とされる。
- 2019年、世界の5歳未満の5.6%（3,800万人）の子どもが太りすぎだった。小児の太りすぎは、急性および慢性疾患の発生、健康な発達、個人や社会の経済的生産性への悪影響を及ぼすため、世界的な公衆衛生問題として対策が求められる。
- 2020年に入り、新型コロナウイルスに加えて、イナゴの大量発生で農作物が被害にあったことで、東アフリカ6カ国とイエメンで3,500万人がすでに深刻な食糧不安に陥っている。

## ターゲット

- 2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。
- 2.2 5歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。
- 2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。
- 2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
- 2.5 2020年までに、国、地域及び国際レベルで適正に管理及び多様化された種子・植物バンクなども通じて、種子、栽培植物、飼育・家畜化された動物及びこれらの近縁野生種の遺伝的多様性を維持し、国際的合意に基づき、遺伝資源及びこれに関連する伝統的な知識へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分を促進する。
- 2.a 開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のジーン・バンクへの投資の拡大を図る。
- 2.b ドーハ開発ラウンドの決議に従い、すべての形態の農産物輸出補助金及び同等の効果を持つすべての輸出措置の並行的撤廃などを通じて、世界の農産物市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。
- 2.c 食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。

